

福祉

だ

NO.12

平成19年2月16日発行



河合保育園児 一人暮らし高齢者訪問

わたしたちが
書いた『書』と
お弁当です。
いつまでもお元気で
いて下さい。



河合町福寿草の会 お弁当



健康と福祉のつどい

主な内容

- 共同募金…………… 2～6
- 健康と福祉のつどい…………… 7～11
- トピックス…………… 12～13
- 給食サービス…………… 14
- 相談所・災害ボランティア講演会…………… 15
- 寄付御礼…………… 16



共同募金にご協力いただき ございました



赤い羽根募金 5,557,013円
歳末助け合い募金 4,715,621円

共同募金区別実績表

◎ 神岡町

公民館等名	赤い羽根	歳末助け合い
船津	149,400	428,359
川西	100,100	255,300
朝浦	26,400	66,200
東町	96,000	233,309
坂富	36,900	89,600
漆山	9,300	17,800
茂住	13,200	42,200
谷中山	5,400	18,000
釜崎	130,400	205,310
吉田	26,100	71,600
上村	30,300	72,800
殿	18,900	55,500
殿本町	43,500	105,900
江馬	63,300	132,000
麻生野	42,650	89,700
和佐保	2,700	9,000
山之村	15,900	23,200
寺林	26,100	84,000
山田	67,000	98,447
夕陽ヶ丘	19,900	11,100
梨ヶ根	7,500	12,000
割石	4,200	14,000
森下町	3,000	10,000
昭和町	31,500	30,500
サンハイツ殿	3,300	0
サンアルプ旭	25,500	24,100
わかば台	1,800	6,000
自由ヶ丘	1,500	2,500
夕陽ヶ丘特定住宅	5,100	4,500
個人	8,700	11,507
合計	1,015,550	2,224,432

昨年10月1日から12月31日にかけて、赤い羽根募金と歳末助け合い募金に各世帯や法人、団体、個人の方々から、多くの募金が寄せられました。

赤い羽根募金につきましては、岐阜県共同募金会に全額送金し、平成19年度に岐阜県内の福祉施設や福祉事業に配分されますが、飛騨市社会福祉協議会でも、給食サービスやボランティア活動振興事業等に配分を受ける予定です。

なお、歳末助け合い募金につきましては、岐阜県共同募金会に一度全額を送金しますが、平成17年度の剰余金と合わせて12月末に配分を受け、地域の民生委員児童委員を通じて、下記のとおり激励金をお配りさせていただきましたので、ご報告いたします。

温かいご協力を本当にありがとうございました。

● 歳末助け合い募金配分結果 ●

◎ボーダーライン世帯	39世帯	585,000円
◎要介護3以上の在宅介護者	221世帯	2,210,000円
◎母子世帯	142世帯	1,420,000円
◎父子世帯	42世帯	420,000円
◎両親無し世帯	7世帯	70,000円
◎特殊学級等		314,000円
合計		5,019,000円

◎宮川町

区名	赤い羽根	歳末助け合い
小谷区	600	1,000
大無雁区	7,500	25,000
落合区	1,800	6,000
岸奥区	300	1,000
野首区	3,300	16,500
林区	17,100	42,700
牧戸区	3,000	2,000
丸山区	600	2,000
巢之内区	1,200	4,000
種蔵区	6,000	6,000
菅沼区	1,500	1,800
三川原区	4,200	14,000
高牧区	1,500	5,000
西忍甲区	5,300	8,500
西忍乙区	6,000	5,000
森安区	1,200	2,000
打保区	9,600	29,000
戸谷区	2,400	6,000
桑野区	2,400	4,000
杉原区	7,200	12,000
小豆沢区	2,100	0
巢納谷区	1,500	3,000
柵宜ヶ沢上区	3,000	9,000
中沢上区	600	2,000
塩屋区	2,400	8,000
洞区	1,500	5,000
合計	93,800	220,500

◎河合町

区名	赤い羽根	歳末助け合い
角川区	38,100	63,000
小無雁区	6,300	6,000
有家区	4,500	6,600
中沢上区	1,500	2,500
保木林区	2,700	4,500
羽根区	3,900	3,900
新名区	3,300	5,500
上ヶ島区	3,000	5,000
元田区	4,700	9,100
天生区	4,200	7,000
月ヶ瀬区	1,200	0
下稻越区	8,700	8,700
上稻越区	15,300	32,200
大谷区	3,500	3,000
合計	100,900	157,000

◎古川町

区名	赤い羽根	歳末助け合い
1区	24,000	30,000
2区	40,200	26,800
3区	60,000	40,000
4区	25,200	42,700
5区	47,790	48,000
6区	19,500	19,500
7区	36,300	36,000
8区	0	7,000
9区	16,500	16,500
10区	7,200	6,900
11区	11,400	7,600
12区	37,200	37,200
13区	32,700	20,000
14区	47,400	31,000
15区	6,600	7,500
16区	7,500	10,000
17区	0	48,000
18区	36,300	36,300
19区	49,800	27,000
20区	17,700	17,700
21区	44,400	44,400
22区	20,400	20,400
23区	41,800	124,613
24区	66,000	22,000
25区	15,300	15,800
促進区	16,500	11,800
太江区	33,900	33,600
杉崎区	99,600	100,000
袈裟丸区	40,000	40,000
末高区	21,600	21,600
数河区	19,500	32,000
高野区	31,500	31,500
平岩区	3,000	3,000
上野区	13,500	13,500
花もも区	21,000	7,000
中野区	19,500	19,500
下野区	0	14,100
谷区	17,100	28,000
信包区	26,100	11,000
黒内区	24,300	19,336
笹ヶ洞区	9,600	9,600
寺地区	6,000	4,000
畦畑区	6,900	11,500
合計	1,120,790	1,153,949

共同募金寄付者一覧 法人・団体・個人等

「赤い羽根募金」及び「歳末助け合い募金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご寄付いただいた方を一覧にして掲載させて頂きます。
(五十音順、敬称略)

- ◆ アイテック(有) 五千元
- ◆ (株)相和コンサルタント 五千元
- ◆ 朝日新聞サービスアンカー神岡 三千元
- ◆ 天木 久市郎 一千元
- ◆ (有)天生精機従業員一同 三千元
- ◆ (株)アルプスサイン 五千元
- ◆ アルプス薬品工業(株) 十万元
- ◆ アルプス薬品工業(株)親交会 五万五千四百二十七円
- ◆ (有)アルプ飛驒古川 五千元
- ◆ 池田 清五郎 一万二千七円
- ◆ (有)池田不動産 五千元
- ◆ (有)伊藤製作所 千円
- ◆ (株)イバティンテリア親睦会 六万七百二十二円
- ◆ イビデン物産(株)飛驒工場 千円
- ◆ (有)いわさか 一万元
- ◆ 岩崎スポーツ 千円
- ◆ 牛丸石油(株) 五千元
- ◆ 卯辰会 二千元
- ◆ (業)H・C建設 一千元
- ◆ 円光寺 一千元
- ◆ 円光寺仏教婦人会 二千元
- ◆ 大井林産 五千元
- ◆ (有)太田自動車板金 千円
- ◆ 奥田運輸(有) 一千元
- ◆ (株)奥野工務店 一千元
- ◆ 加永建設(株) 五千元
- ◆ 柏木工(株)古川工場 二万五千円
- ◆ (株)加藤組 三千元
- ◆ 加藤土木(株) 一千元
- ◆ 加納工業(株) 五千元
- ◆ 釜上板金加工所 五千元
- ◆ (有)カマケン商事 五千元
- ◆ 神岡運輸(株) 三千元
- ◆ (株)神岡衛生社 三千元
- ◆ 神岡鋳業(株) 五千元
- ◆ (株)神岡セラミック 一千元
- ◆ 神岡町仏教会 九万九千二百十八円
- ◆ 神岡マインサービス(株) 千円
- ◆ 神岡林業協 五千元
- ◆ (有)川勝興業 五千元
- ◆ 川上 節男 二千元
- ◆ 川畑 信子 七千円
- ◆ (有)季古里 三万五千五百八十八円
- ◆ (有)北野建設 一千元
- ◆ (株)北平商店 三千元
- ◆ (株)喜多村古川工場 一千元
- ◆ 北山ラベス(株)古城ファーム 五千元
- ◆ 喫茶ウインキーポップ 七千五百十五円
- ◆ 旧宮川村青年部 千八百五十四円
- ◆ (有)共栄建材店 三千元
- ◆ (農)黒内果樹園 千円
- ◆ 桑田製菓舗 一千元
- ◆ K・T・K工業(株) 千円
- ◆ (有)幸栄石油 五千元
- ◆ (有)幸栄輸送 五千元
- ◆ (株)神和 三千元
- ◆ 小島若鮎会 一千元
- ◆ ごとう文具(有) 五千元
- ◆ (有)小水電機 五千元
- ◆ (有)コムスエンジニアリング 一千元
- ◆ コラリアーズ・コスモス 一万六千八百七十六円
- ◆ (有)彩美社 五千元
- ◆ 坂上建設(株) 一千元
- ◆ 坂本土木(株) 五千元
- ◆ 佐藤建設(資) 三千元
- ◆ (有)サニー理容室 三千元
- ◆ (有)さわ 一千元
- ◆ サワ電気(株) 一千元
- ◆ (株)三晃設備工業 一千元
- ◆ 三進造林(有) 三千元
- ◆ 三信電子(株)親和会 四万四千八百円

◆ J U 岐阜飛驒支部

一万七千九百七十一円

◆ (有) 重山酒店

五千円

◆ (有) 志田鉄工所

一万円

◆ (株) 清水組

五千円

◆ (株) 清水建設

三万円

◆ (株) 清水建設従業員一同

五千八百七十四円

◆ (有) 清水産業

三千元

◆ 清水商事(株)古川営業所

三千元

◆ 清水 昭南

二万円

◆ 下瀬 進三

一万円

◆ 十九区四組

二万円

◆ (株) 神栄商事

三千元

◆ 神工電気(株)

五千元

◆ 真宗寺佛教婦人会

二万円

◆ (協) 新成建設

一万円

◆ (有) 砂原石材

五千元

◆ (有) 瀬川鉛鉄

五千元

◆ (有) 関屋工務店

三千元

◆ (有) 創建

三千元

◆ (有) 大栄技建

三千元

◆ (業) 高登建設

三万円

◆ (業) 高登建設従業員一同

一万七千七十円

◆ 高野若葉会

一万円

◆ 高山信用金庫神岡営業部

一万円

◆ 高山信用金庫古川支店

二千元

◆ 高山信用金庫古川支店従業員一同

一万二千七十六円

◆ (株) 宝タクシー

三千元

◆ (有) タクマ建築

五千元

◆ (株) 田近工務店

五千元

◆ (名) 田中屋商店

二千元

◆ 田辺製薬吉城工場(株)親睦会一同

五万円

◆ (有) 谷辺商店

一万円

◆ 田ノ下製菓舗

一万円

◆ (有) 田舎中自動車

一万円

◆ (有) 土洞設備工事

五千元

◆ (株) 東洋

三万円

◆ 東洋建設資材(株)

五千元

◆ (有) 時計・宝石・メガネの栄

五千元

◆ (株) 利興

三万円

◆ (有) 常茂恵ホテル

五千元

◆ (有) なかいち

五千元

◆ 中村ガラス店

五千元

◆ (有) 中村工務店

五千元

◆ (資) 波岡工務店

五千元

◆ (有) ナンキテクニカ

三千元

◆ 西田モーターズ

一万四千百十五円

◆ 西野製材所

五千元

◆ 二十区五組

二万円

◆ 日本レヂボン(株)コンポジット事業部

三千元

◆ 日本レヂボン(株)生産本部

五千元

◆ 登田 豊治

二万円

◆ 野村 利雄

一万円

◆ 橋本工業(株)

二万円

◆ 橋本工業(株)古川営業所

一万円

◆ (有) 橋本商店

五千元

◆ (税) 飛驒会計事務所

二万円

◆ 飛驒市河合町老人クラブ

六万八千七百七十四円

● 元田福寿会

三万五千五百円

● 角川長寿会

八万四千四百円

● 羽根欣生会

四万五千五百円

◆ 飛驒市職員親睦会

十万六千五百七十三円

◆ 飛驒市職員等

三万二千五百円

◆ 飛驒市女性会神岡支部

三十五万九千五百円

◆ 飛驒市女性会河合支部

二万五千元

● 稲越地区女性会

六千元

● 元田地区女性会

四万四千五百円

● 角川地区女性会

● 羽根地区女性会

九千五百円

◆ 飛驒市女性会古川支部

三十七万九千五百七十七円

◆ 飛驒市女性会宮川支部

二万円

◆ 飛驒市森林組合

一万円

◆ 飛驒市古川地区民生委員協議会

五万四千元

◆ 飛驒市古川町老人クラブ

二万九千三百四十六円

◆ 飛驒市宮川町老人クラブ連合会

七万四千九百六円

◆ 斐太石油(株)神岡江馬給油所

三千元

◆ 飛驒生コンクリート(株)

三千元

◆ 飛驒農協役職員一同

十二万円

◆ (株) 飛驒防災協会

五千元

◆ 氷見 六栄

三万円

- ◆(有)房村組 五千元
- ◆(有)藤上土建 三千元
- ◆(有)双葉屋 千円
- ◆船津官材協 五千元
- ◆(有)古川住設管工事 三千元
- ◆(株)古川石油 二万六千六百七十五円
- ◆古川タクシー(株) 二千元
- ◆古川町社会福祉事業協力会 十万元
- ◆(有)古川ニュース販売 五千元
- ◆(有)古川不動産 五千元
- ◆(資)古田豆腐店 五千元
- ◆(有)平和商事 五千元
- ◆(有)牧成舎 五千元
- ◆北社会 四万五千二百六十六円
- ◆(株)洞口 一万元
- ◆松下電建(株) 五千元
- ◆(有)松本組 五千元
- ◆(株)ママシヨップうえの 五千元
- ◆(株)丸茂 一万元
- ◆三嶋 順二 三万円
- ◆三葉会 三万五千元
- ◆(株)みやがわ 五千元
- ◆(株)宮腰タイヤ 五千元
- ◆(有)宮前精肉店 三千元

- ◆(有)宮前塗装 五千元
- ◆みるく美容室 五千元
- ◆(有)森下住設 一万元
- ◆森脇 璉 二千八百九十五円
- ◆(株)柳木材 五千元
- ◆(有)山口木工所 五千元
- ◆山腰石油 五千元
- ◆(有)山腰楼 千円
- ◆(有)山崎石油 三千元
- ◆(有)山進木工所 五千元
- ◆(有)山本組 五千元
- ◆(有)山脇 五千元
- ◆(有)吉城コンピューター 五千元
- ◆(有)吉城商事 五千元



- ◆(株)吉城生コン 五千元
- ◆立正俊正会 七万五千十四円
- ◎匿名様五件 三万八千七百一円
- 募 金 箱
- ◎神岡振興事務所 三千五百八十三円
- ◎神岡町公民館 一万四百七円
- ◎神岡町福祉会館 七百二十一円
- ◎飛騨市神岡町内金融機関 高信・飛騨信組・飛騨農協 千九百八十一円
- ◎飛騨市文化交流センター 百八十三円
- ◎飛騨市民病院 二千三百八十四円
- ◎古川町総合会館 四千五百八十五円
- 街頭募金
- ◎Aコープたかはら 七万七千六百四十五円
- ◎河合町文化祭 二万七千七百六十一円
- ◎コメリ神岡店 三万七千八百九十九円

- ◎駿河屋古川店 四万七千八百四十円
- ◎飛騨市文化交流センター 八万三千二百七十円
- ◎飛騨農協杉崎支店 三万八千六百五十九円
- ◎飛騨農協信包支店 二万五千五百二十二円
- ◎飛騨農協古川支店 二万七千九十一円
- ◎パロー神岡店 七万九千八百五十九円
- ◎ママシヨップうえの 五万五千七百七十五円



健康と福祉のつどい

平成18年11月12日(日)に飛騨市文化交流センターにおいて市と共催で「飛騨市健康と福祉のつどい」を開催しました。今年、合併3年目で社会福祉大会を開催し飛騨市の福祉の推進にご尽力いただいた民生児童委員の方や民間の社会福祉団体の役職員として長年、勤務された方等の表彰を行いました。

また、福祉協力校として指定している各中学校から中学生4名の意見発表及び山之村小中学校を含めた小中学生6名の福祉標語の掲示をしました。

表彰を受けられた方及び各学校で選抜された意見発表、標語の優秀作品を掲載させていただきます。



飛騨市社会福祉協議会長表彰

(敬称略)

民生委員児童委員	
井之口 藤男	古川地区
天木 喜代	古川地区
北平 明	古川地区
後藤 英輔	古川地区
小林 圭一郎	古川地区
重山 邦雄	古川地区
袖村 正	古川地区
竹之内 志げ	古川地区
坪根 豊	古川地区
野村 春雄	古川地区
古井 榮市	河合地区
松田 弘	河合地区
下出 仁作	河合地区
下出 愛子	宮川地区
中谷 博幸	宮川地区
中村 守隆	宮川地区
黒川 照子	神岡地区
野口 俊介	神岡地区
横川 奎二	神岡地区
金井 洋子	神岡地区
阪下 昭子	神岡地区
鳥羽 敬子	神岡地区
榎木 良一	神岡地区
蒔田 ソデ子	神岡地区
溝口 繁春	神岡地区
結城 高枝	神岡地区
大森 正道	神岡地区

特別表彰	
井谷 睦治	善行感謝

社会福祉施設等役員	
大森 旭道	神東会
橋本 妙子	神東会
村澤 寛	双葉福祉会
南 雅夫	双葉福祉会

社会福祉施設等職員	
渡邊 正一	岐阜県身体障害者相談員
大西 牧子	さくらの郷
奥田 康弘	吉城福祉会
後藤 芳江	吉城福祉会
大久保 秀子	吉城福祉会
東出 直哉	吉城福祉会
倉家 真里子	吉城福祉会
岩田 陽子	吉城福祉会
浅井 弘美	吉城福祉会
岡田 和子	吉城福祉会
橋本 ちづ子	吉城福祉会
溝上 昌美	吉城福祉会
青山 和弘	たんぽぽ苑
上葛 健介	たんぽぽ苑
下倉 美保	たんぽぽ苑
堀本 真子	たんぽぽ苑
稲田 ひとみ	たんぽぽ苑
新家 八重子	たんぽぽ苑
山田 雅子	たんぽぽ苑
蒔田 厚子	たんぽぽ苑
橋本 久代	たんぽぽ苑
前原 亜紀子	たんぽぽ苑
小林 丈志	たんぽぽ苑
大前 百合子	たんぽぽ苑
古田 寿奈子	たんぽぽ苑
山本 智恵子	たんぽぽ苑
河上 由美子	双葉保育園
中谷 香織	双葉保育園
大森 典子	双葉保育園
前原 美保子	双葉保育園
井下 淳子	飛騨市社会福祉協議会
圓山 正真	飛騨市社会福祉協議会
福田 麻帆	飛騨市社会福祉協議会

意見発表

ボランティア
することの意味

古川中学校三年

袖村 杏子

私は、前期福祉委員長をしました。福祉委員長に立候補したのは、自分がボランティアを通して感じた喜びや感動を、全校のみんなにも味わってもらおうと思ったからです。

みなさんはボランティアに進んで参加していますか？また、ボランティアについて、どんな考えを持っていますか？

私は、ボランティア活動とは、特別な活動でもなければ、難しいことではないと思います。自分から進んで行ったことが社会の人の為になり、それが無償、つまりお礼のお金などを求めることのない活動であれば、どれも立派なボランティア活動だと思います。

私はこれまでに、給食サービスや老人ホームへの訪問・ちびっこランドへの参加など様々なボランティア活動をしてきました。その中で、私がボランティアを始めるきっかけとなった給食サービスについて話したいと思います。

給食サービスとは、一人暮らしのお年寄りの方にお弁当を作って届けるという活動です。最初は友達からの誘いも断りきれず、「簡単そうだからやってみよう。」と軽い気持ちで参加しましたが、でも、実際はずっと立ちっぱなしで何時間も仕事をしなければならぬので、想像以上に大変でした。私はお弁当を作りながら「なんでこんな事しなければならぬの？」と思っていました。

お弁当が完成して、お年寄りの方々に届ける時間になりました。「お弁当を作るだけでも大変なのに……」と少し嫌な気持ちで配達にむかいました。お弁当を渡す時、私は作り笑顔で、「お弁当を作ったので食べて下さい。」と言いました。私はその時、驚きました。お年寄りの方は、床の上で正座したまま、「毎度、毎度、本当にありがとうございます。」と、私に向かって何度も何度も深くお辞儀をされました。

その時、私は胸がすごく熱くなるような、不思議な気持ちになりました。お年寄りの方に笑顔で、「ありがとうございます。」と言ってもらえた時、今までの疲れが飛んでいったように、すごく軽い気持ちになりました。そして、嫌々お弁当を作っていた自分を深く反省しました。

私は給食サービスを通して、この活動は、普段独りでさみしく生活して見えるお年寄りに、お弁当と一緒に元気と笑顔を届ける活動ではないかなあと思いました。

友達に誘われて始めたボランティアですが、いろいろな活動を行っていくうちに、ボランティアの意味を自分なりに理解することができたのでうれしいです。「ボランティアとは、何ですか。」という質問に対する答えは、きつと無限にあると思います。大切なのは、一人一人がボランティアに対する自分なりの考えを持つことだと思います。私は、ボランティアは、ただするだけの活動ではなく、活動した後の自分の見方・考え方を見直す、つまり自分自身を振り返ることができるきっかけになると思います。

自分の行動に対して、相手に喜んで

ワークキャンプに

参加して

神岡中学校二年

川上 祐果

八月一日、二日、私は神岡町旭ヶ丘にある旭ヶ丘デイサービスセンターにおいて、ワークキャンプに参加しました。ワークキャンプは、夏休みを利用して福祉について理解するものです。

もらえた時、何か気持ちの良いものを感じたことがありますか？それはきつとあなたの心の中で、何か目に見えない温かいものが動いているからだと思います。

今の私達に必要な事は、人のためになることってどんなことなのか。ボランティアの意味について自分なりに理解しようとするのだと思います。その答えを探すきっかけとして、まずはボランティア活動に参加してみませんか。そして、何かを感じて下さい。それと、今の自分があるのは、周りのみんなのお陰であることを決して忘れないで下さい。

人を温かい気持ちにさせる力は、世界中の人々、ひとりひとりにあります。自分の力を信じてあきらめないで下さい。広げよう福祉の輪。響かせよう「ありがとう」の声。

私はそれまで、あまり福祉に興味がありませんでした。私がこの体験に参加したというのも、友達と一緒にだから、おもしろそうだから、などという軽い気持ちからでした。その時の私は、この体験によって福祉に対する思いが大きく変わるとは考えてもいませんでした。

当日、私達はデイサービスセンターへと向いました。体験の始まりです。まず、朝のミーティングです。その日



一日の予定を決め、しっかりと理解するという大切なものです。それによると、日程は朝九時から五時まで。それまで、上手くお年寄りと接することができるだろうか？楽しみでもあり、不安でもありました。

いよいよ九時。私達は仕事に就きます。まず、各テーブルに分かれて、ふれ合うことから始めます。私は、一人であること、お年寄りのみなさんとふれ合うこと、全てが不安で不安でたまらなくなりました。私が担当したテーブルは、女性の方達のテーブルでした。みなさんはとても優しく、緊張してコチコチの私をフォローして下さり、いろんなことを話しかけて下さいました。それから、パズルや文字ブロックなどでふれ合う時間は、とても楽しく、

どんどん親密になることができました。十二時。昼食です。食事の前に上手く食べ物飲みこむための嚥下体操をします。私達は普段、体操などしないで食事をします。それがお年寄りの方々にはできません。それを考えると、いつもやっていることは、本当に幸せなことだと分かりました。

午後。私達の休憩も終わり、再びふれ合いをします。午前中も活動をしたので話すことにもだいたいなれ、おじいちゃんと一緒に囲碁をしたり、なぞなぞを出し合ったり。自分も楽しんで、相手も楽しむことができます。そんなすてきな時間を過ごしました。大切なことは、自分から話しかけることだったと思います。

楽しくて、いろいろ学んだ体験も、もう終わり。利用者の方のお見送りです。初めは、不安で不安でたまらなかつた体験も、今振り返ると私に大きな物を残してくれました。福祉に対する思いの変化です。私は今まで福祉についてあまり考えたことがありませんでした。しかし、福祉は私達だれもお世話になるものです。将来の私達の幸せのためにも、国民の一人一人がしっかりと福祉について考えて行かなければいけないのではないでしょ

うか？今、介護を苦に殺人や自殺をする方もいます。そんな日本を改善するために、私は、そんな人達を支えたいと考えました。悩みは、他の人に相談するだけでもずいぶん楽になります。もし、あなたのそばにそんな悩みを持った方がいたら、相談にのってあげて下さい。きっと介護等の悩みを苦しめ殺や殺人をする人も減るはずですよ。明日の福祉を変えるのは私達です。そんな事を考えました。

お年寄りから 学んだこと

河合中学校三年

田中綾乃

私は今年の夏休みも福祉のワークキャンプに参加しました。参加した理由は、小学校の時も参加したけれど、小学校の時とはまた違った視点で体験できるだろうと先生に勧められたからです。

ワークキャンプで最初にあった「シニア体験」では、小学校の授業で使ったものと同じ物を使用しました。しかし、その頃より自分の背が少し伸びたせいか、以前体験したよりも腰が痛かったです。今の私は体力や筋力がつ

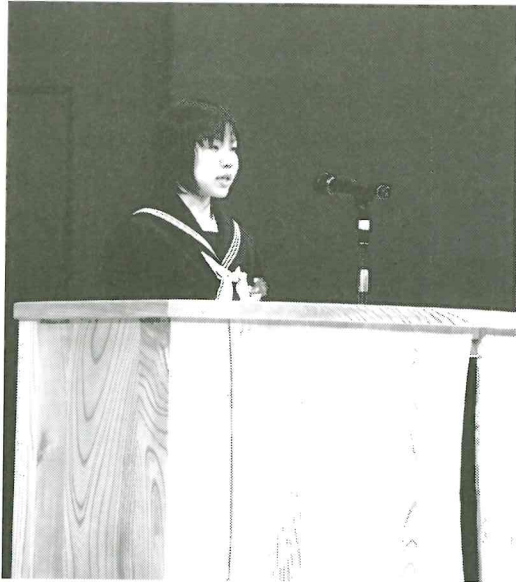
てきているので、腰を伸ばすことはでききました。でも、とても重くて大変でした。この痛みは一時的なものだけれど、お年寄りはずっとこの状態なんだなあと思いました。次の体験は、ゴールでした。思ったより見にくかった、というよりは、全くと言ってよいほど見えませんでした。もう一度体験すると決まったときは、「前にもやったことがあるし、このゴールは確かに見にくけれど、字くらいは見えるだろう。」と考えていました。しかし、その考えとは全く違っていて驚きました。広告に載っている字が読めなかつたからです。例えば、「卵一パック 八十円」と書いてあるとします。一番字が大きいのは八十円ですが、何がというのかわからなければ意味がありません。でも、「卵」という字は小さいし細かいので見えません。私はこの時、改めて「こんなに見にくかつたんだなあ。」と感じることができました。

次の体験は、「すこやか館」で働いてみえる方達と一日中同じような仕事をするのでした。最初はものすごく緊張して向かいました。初めて会う人達ばかりだったからです。「一体どんなことをするのだろう。」とか「うまく話せるだろうか。」と心配な気持ちでいっぱいでした。でも、みなさんとすぐになじむことができました。お年寄りの方々は、昔の話などをして

下さって、とても勉強になりました。とても楽しい気持ちになりました。

この二日間の体験を通して、私はお年寄りの方々に対しての見方が変わったように思います。それはこんなことです。まず、一つ目は、体を動かすことがとても大変だということを変更して実感したこと。私は、自分の祖父が歩いている姿を見ていて、今までは何とも思わなかったけれど、その大変さと思うと、今は「何か手伝って。」と言われたら、できるだけ力になってあげたいと考えるようになったのです。二つ目は、一緒に話すということ。お年寄りの方々は私たちとはあまり話が合わないのかなあ、などと思ってしまうのですが、実際話してみると、決してそんなことはありませんでした。とてもためになる話ばかりだったと思います。だから、もつとどんどん自分からおじいちゃんやおばあちゃんに話しかけていかなければなあ、と思えました。

ワークキャンプを終えてみて、私は、このようにお年寄りの方々とふれあうことはとても大切なんだと思うようになりました。こんなふうに考えてみました。もし、バスや電車などで自分は座っていて、お年寄りの方が立っている



いう場面に出くわしたとき、みなさんならどうするでしょうか。以前の私なら、「譲ったほうがいいのだろうなあ。」と迷いながら結局は座ったままでいたかも知れません。でも、今の私なら、そんなお年寄りに声をかけて席を譲ることができると思います。それは、この体験を通して感じ、考えたことが以前の体験よりずっと強かったからです。私は、もつとたくさんの人たちに、このような体験やお年寄りの方々とふれあう場があるのではないかと思っています。

もう一つ思ったことがあります。それは、体験に行った施設の設備のことです。この施設は、全てバリアフリーになっていて、車椅子での移動や、足

の不自由な人などが歩くのに、とても快適だと思えました。私たちの学校の玄関にはスロープが一つありますが、もつとバリアフリーにすればいいのではないかと考えました。そうすれば、お年寄りの方々に学校に来ていただく、授業などを見ていただいたり合唱を聞いてもらえると、思うからです。一緒にいろんな話をする機会も増えるに違いありません。

でも、そのような場や機会をつくるということは、そう簡単にできないのかも知れません。私ができることは、まず、このワークキャンプを通して私が考えたことや感じたことを、身近な人たちに伝えていくことではないかと思っています。そうして、お年寄りとの交流会のようなことが、小学生や中学生の行事になるといいなあと思います。

他には、市の主催であるゲートボールなどで、地域の方々やお年寄りの方々とふれあうことができると思うので、そうした行事にも参加してみたいと思っています。今年のワークキャンプは、二つの視点で考えたり、実感することができたので、私にとっては貴重な経験となりました。これから、自分には何ができるか、何をすべきか、ということをもさらに具体的に考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

見つめ直そう 自分の態度を

宮川中学校二年

谷口 拓 瑛

僕は、未だに忘れられないことがあります。それは、何年前かに放送されていたあるテレビ番組のことです。その番組では、若い人が高齢者に変装して、変装する前と同じ行動をとって周りの人の態度を調べるといふものでした。その結果、若い人に対しては、周りの人はやさしく接していました。高齢者には嫌そうに接していたのです。これには、とても驚きました。普通なら、高齢者の方と接するときにこそやさしく対応すべきなのに、嫌そうに対応しているのはおかしいなと思いました。

そこで、自分のじいちゃんばあちゃんへの日頃の対応はどうだろう、というのを考えてみました。テレビで人々が高齢者に嫌そうに接していたけれど、まさしく僕もその中の一人だと思いました。

「補聴器はどこに行ったか知らんか？」とじいちゃんに聞かれると、「知らんさ。」と冷たい口調で答えるときがあります。また、一日の会話はそんなになるので、僕は口だけの人間だな。じいちゃんばあちゃんは、何も悪

いことはしていないのに、どうしてひどい態度をとってしまうのかと反省します。

じいちゃんは、僕が楽しみにしていたびわの植え替えを一人でやってしまつて、僕は、陰で本気で怒つたことがあります。

このように、じいちゃんは何でも一人ですませてしまうので、僕はどつちかと言つと、あまり好きなタイプではありません。でも、僕が木工作品作りをしていた時、どのように作つていこうか迷つていたら、じいちゃんはやさしく教えてくれたり、手伝つたりしてくれました。今年もですが、去年もおとしも、作ることになるといつも手伝つてくれました。期限間近になつても仕上がつていなかったのに、完成できたのはじいちゃんのおかげです。それらの作品をいつまでも大事に使いたいと思つています。

また、ばあちゃんは僕に、「これ食べる？」と聞くので、「いらぬい。」と答えると、ひねくれることがあります。そういうところが少し苦手です。でも、ばあちゃんの作る料理は大好きです。その中でも、みそ汁が一番好きです。そのみそ汁ならおかわり何杯もいけます。とてもおいしくて、毎回食べたいくらいです。ばあちゃんはその他にも、洗濯をしてくれたり、服をたたんでくれたり、掃除をしてくれたり、僕たち

家族のためにがんばつてくれています。

このように、じいちゃんばあちゃんは、僕たちのためにいろいろとがんばつてくれています。じいちゃんばあちゃんは毎日畑仕事や、家事などで、疲れています。それなのに、僕は家のことは何もしないで、疲れているじいちゃんばあちゃんに冷たい態度をとつていて、なんて情けないのだろうと思つきました。そういえば、近所の子どもとその子のばあちゃんが、いつもいっしょに居るのをよく見ます。その子のばあちゃんは、とてもうれしそうです。このことから、いっしょに居るだけでも仲は深まるということが分かりました。

僕もじいちゃんばあちゃんのために何かしようということで、風呂掃除をすることにしました。その他にも、もっと会話を増やそうとがんばつています。そういった普段の生活でじいちゃんばあちゃんと接していくうちに、お年寄りのやさしさ、ぬくもりを感じるようになりました。世の中の若い人も、何かじいちゃんばあちゃんのためにしてみると、仲が深まつてぬくもりを感じる事ができると思います。お年寄りは、人生の大先輩です。もしお年寄りの身に危険があったら助ける、そんな世の中になることを願っています。

福祉標語

「ありがとう」の数だけ

笑顔がある

山之村中学校三年 仲田紗織

おじいちゃん 年をとるほど

ゴルフがうまい

神岡小学校六年 堀本有里子

いつまでも みんな元気

暮らそうね

古川西小学校六年 日下部恭介

みんなで考えよう

ユニバーサルデザインの町づくり

河合小学校六年 上野竜輝

気づいたら 人に手をかす

思いやり

古川小学校五年 後藤瑞貴

「大丈夫？」さしのべた手が

温かい

宮川小学校五年 平田綾花



トビックス



11月8日に、飛騨市内で要介護2以上の方を在宅で介護されておられる方を対象に、「在宅介護者のつどい」を開催しました。市内各地から31名の方が参加され、氷見へ行ってきました。この日は天気もよく、遊覧船で湾内クルージングを楽しみました。昼食後は、立山連峰を見ながらの入浴をし、わずか1日でしたが、日頃の介護の疲れを忘れて、楽しんでいただけたと思います。

介護者のつどい

10月15日、神岡町公民館において福祉映画会を開催し、153名の方が観賞されました。上映した映画は、芥川賞作家・小川洋子のベストセラー小説「博士の愛した数式」を小泉堯史監督が映画化したもので、今年1月に公開され、寺尾聰、深津絵里、齋藤隆成、吉岡秀隆、浅丘ルリ子といった実力派俳優が演じていることでも話題になりました。10年前に交通事故の後遺症で新しい記憶が80分しか持続しなくなってしまった元天才数学者「博士」、博士の新しい家政婦とその10歳の息子「ルート」の心のふれあいを描いたもので、数学をこよなく愛し純粋な心と優しさを持った博士から、数式の美しさを通して一途な生き方や愛情、温かな人間関係を教えられました。

福祉映画会

11月1日より飛騨市障害者地域生活支援事業の日中一時支援事業として、飛騨市より神岡地区での事業を受託し「なかよしキッズ」を開設しました。これは在宅障がい児の方を日中一時的にお預かりするもので、現在6名の方にご登録頂いています。詳細やご利用方法につきましては、飛騨市健康福祉部総合福祉課又は飛騨市社会福祉協議会までお問い合わせください。

なかよしキッズ



神岡小学校の5年生3クラスでは、ふるさと学習（保育園やたんぼぼ苑を訪問して交流）の一環として、それぞれのクラスで高齢者疑似体験と車椅子体験を行いました。取材に訪れた11月13日には、5年3組で谷上先生の指導のもと、2人ペアで高齢者疑似体験セットを装着して、新聞を読んだり、おもちゃのお金を数えたり、紙に自分の名前を書いたりして、高齢者になるとどんな感じになるのかを体験しました。普段と比べると思うように出来ないことが多かったようで、悲鳴をあげながら一生懸命に取り組んでいました。

神岡小学校福祉学習

今年も冬季を迎えるにあたり、古川地区と神岡地区において一人暮らしのお年寄り等を対象に防火点検を実施しました。古川地区においては、11月9日、飛騨市消防本部にご協力をいただき、2班に分かれて33世帯を対象に実施し、火の元の点検や消火器の期限の確認、住宅用火災報知器の説明を行いました。また、神岡地区においては、11月9日と10日、民生委員、神岡消防署、北古城ガス組合、北陸電力にご協力をいただき、14世帯を対象に実施し、ストーブやガス器具の設置状況や漏電の点検を行いました。点検を受けられた方は、「相談する相手がいないため、来ていただいて安心しました。」と話しておられました。

防火点検



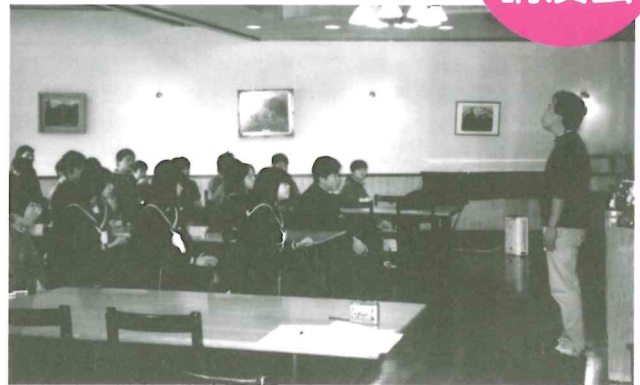
去る11月20日、東海テレビ放送より、車イスのまま乗れるリフト車「愛の鈴号」を贈呈して頂きました。これは、岐阜県社会福祉協議会を通じて、東海テレビに車両贈呈申請をしたところ、申請が通り、岐阜県で飛騨市社協が寄贈して頂きました。今後は、神岡地区での障害児一時支援事業で、送迎用として使用していきたいと思います。

愛の鈴号



11月14日～16日にかけて、福祉協力校として指定しております山之村小中学校、古川西小学校、飛騨神岡高校、河合中学校、神岡中学校で「福祉講演会」を開催しました。講師にmottoひょうご事務局長の栗木剛先生をお招きし、人権について、野外活動について、いじめについて、ボランティアについてそれぞれの学校のテーマに応じて講演して頂きました。いずれも、講演会では、児童・生徒に問いかけながらの楽しい講演となりました。講演を聴講された保護者の方は、「子どもたちを飽きさせない楽しい講演で、わかりやすかった。」と話しておられました。

福祉講演会

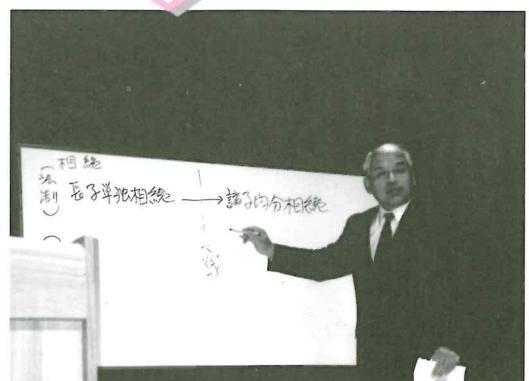


古川小学校の4年生3クラスでは、1月24日、総合的な学習の時間に「いろいろな人とふれ合おう」ということで、小林福一さんから、どうして目が見えなくなったのかということや、どのように生活しているのかという話を聞き、点字を打つうえでの注意点を教えていただきました。小林さんの話には、今まで気がつかなかった発見や驚きがあり、児童からも沢山の質問がありました。その中の「僕たちになりたいことは何ですか。」という質問に、「街で白い杖を持った方がみえたら、声をかけてほしい。」と答えられ、休み時間になっても、小林さんを取り囲んでの交流が続いていました。

古川小学校
総合学習

12月7日には、飛騨市の4町でそれぞれ開設している心配ごと相談所、相談員の研修会を開催しました。今年度は、文化交流センターの小ホールにおいて講演会として岐阜県精神保健福祉センターの石井俊也先生より『うつ病について』話をしていただきました。『うつ病』は、かかる率の高いポピュラーな病気であるにも係わらず、偏見の目で見られているという説明がされました。その後、法律相談をお願いしている阪下六代弁護士より『高齢者をめぐる法律知識』と題して研修会を開催していただきました。身近な内容でわかりやすい内容の研修会でした。

心配ごと
相談員研修会





飛騨市の 給食サービス



■古川地区

11月16日には、くちなしの会(岡部せつ子会長)、11月17日には、あいの会(青木孝子会長)、11月23日には、栄養士会(牛丸貴美子会長)、11月25日には、飛まわり会(野口小夜子会長)による給食サービスが行われました。お弁当は、配食ボランティアのランチボックス(川上萇会長)の方に配達をしていただきました。また12月9日、くちなしの会の皆さんと吉城高校の生徒4名により、土曜日を利用した一人暮らしのお年寄り等への給食サービスが行われました。小学生の時から参加を続けて下さっている生徒や、昨年も参加して下さった生徒がみえ、手際よく、色とりどりのおいしそうなお弁当に仕上がりました。参加した生徒は「季節の素材をつかい、栄養のバランスを考えたメニューのうえに、盛り付けでは見た目もおいしくみえるように気を配っていて、すごいなあ、いつ参加しても楽しい。」と話していました。

■宮川地区

11月14日、12月19日に宮川あじさいの会(野村志賀子会長)による給食サービスが行われました。どちらのお弁当も、寒い季節に向けて元気で過ごしていただけるように考えられており、手の込んだメニューでした。12月のお弁当は年末ということもあり、大根の白和えや赤飯など、色鮮やかな料理がお弁当箱に並びました。お弁当は宮川地区の民生委員と配達ボランティアの方々によって一人暮らしのお年寄りの方々などに届けられます。受け取られた方は季節感あふれるお弁当に「いつもおいしいお弁当をありがとうございます。」と喜んでおられました。

■河合地区

11月15日、12月13日と26日、1月9日と24日に河合町福寿草の会(下堂前ハナエ会長)による給食サービスが行われました。いずれのお弁当も栄養のバランスが考えてあり、寒い季節も元気で乗り切れるようなメニューでした。11月15日には、河合保育園の園児たちが一人暮らしの方を訪問しました。この活動は毎年行われており、今年は河合町の給食サービスのお弁当とあわせて、園児たちが一生懸命書いてくれた「書」をひとりひとりに手渡しました。受け取られた方たちはかわいらしい園児たちに微笑みながら、うれしそうに「書」のプレゼントを受け取ってみえました。年末にはクリスマスとお正月にちなんで、ぶりの照り焼きや大根なます、黒豆の煮物などと一緒にケーキと手づくりの折り鶴をお届けしました。お弁当は河合地区の民生委員児童委員によって届けられ、「毎回毎回おいしいお弁当をありがとうございます。」と喜んでみえました。また、1月9日には河合小学校の児童2名と河合中学校の生徒3名がボランティアとして参加してくれました。朝から福寿草の会の会員と一緒に調理をし、民生委員と一緒にお弁当を届けてくれました。参加した児童生徒の皆さんは「調理の方たちは衛生面に気を配り、献立も食べやすいものを作るなどいろいろなことが考えられていて、勉強になった。」「お弁当を届けたとき、ありがとうございますと声をかけてくれてうれしかった。」など冬休みの貴重な経験になったようでした。

■神岡地区

毎週金曜日に、なずな会(黒川照子会長)による給食サービスが行われています。年末最後のお弁当はおせち料理弁当で、お正月のおせち料理を基本として作られ、ぶりや黒豆、数の子など27品の入った華やかなお弁当でひと足早いお正月料理を味わっていただきました。この日のご飯は11月19日に行われました市観光協会ツアー団体が黒部市を訪問された際に土産として贈呈されたお米と水を使用させて頂きました。味も甘みや粘りが強くおいしいお米でした。受け取られた方にも大変好評で「いつもおいしいお弁当をありがとうございます。一足先にお正月気分になれてうれしい。」と喜んでおられました。

募 集

配達ボランティア

神岡町と古川町では、給食サービスを希望された一人暮らしのお年寄り宅等へ、お弁当を配達して下さる配達ボランティアを募集しています。運転免許をお持ちの方ならどなたでも結構です。お気軽に、お問い合わせ下さい。

* 神岡町

昼食の配達です。
飛騨市社会福祉協議会 神岡支所
☎0578-82-3755

* 古川町

昼食または夕食の配達で、
1回1時間程度の活動です。
飛騨市社会福祉協議会
☎0577-73-3214



飛騨市結婚相談所



秘密は厳守いたします。
お気軽にご相談ください。

古川町総合保健福祉センター

月	日	開設時間
2月	24日(土)	③ ① 午後1時～午後4時 (ボランティアルーム) ② 午後6時～午後8時 (2階 相談室)
	7日(水)	①
3月	15日(木)	②
	24日(土)	③ ③ 午後1時～午後4時 (2階 相談室)

相談所 TEL0577-73-6483 (相談日のみ)

神岡振興事務所

月	日	開設時間
2月	18日(日)	水曜日 午後1時～午後4時
	7日(水)	日曜日 午後6時～午後8時 (1階 第3会議室)
3月	18日(日)	

飛騨市心配ごと相談所

月	日	開設場所	開設時間	相談員
2月	25日(日)	ハートピア古川	午後1時30分～午後3時30分	重山 邦雄 岡田 雅枝 下出 弘幸 人権擁護委員
		神岡振興事務所 第3会議室	午前10時～正午	沖野 好夫 蒔田 ソデ子
3月	9日(金)	神岡振興事務所 第3会議室	午後6時～午後8時	中澤 靖子 黒川 照子
	10日(土)	ハートピア古川	午前10時～正午	室田 義昭 望月 聖子 岩佐 英夫 下出 弘幸 人権擁護委員
	14日(水)	友雪館	午後7時～午後8時30分	政木 茂子 堀脇 ふで
	16日(金)	宮川町保健センター	午後1時～午後4時	民生 児童委員 人権擁護委員
	25日(日)	ハートピア古川	午後1時30分～午後3時30分	室田 義昭 望月 聖子 岩佐 英夫 下出 弘幸 人権擁護委員
神岡振興事務所 第3会議室		午前10時～正午	横川 奎二 蒔田 ソデ子	

災害ボランティア講演会



災害発生時には、様々な形で多くのボランティアと地域の方々の力が必要となります。

平常時の防災対策にも寄与すべく、「災害ボランティア講演会」を右記のとおり開催いたします。

今回は宮川町と神岡町の2カ所で計画しました。この機会にぜひお誘い合わせの上ご聴講ください。

- ◎期 日 平成19年3月7日(水)
- ◎場所・時間 ①宮川町老人福祉センター 午後3時～4時30分
②神岡町公民館 3階会議室 午後7時～8時30分
- ◎講 師 大阪ボランティア協会 理事・事務局長 早瀬 昇先生
- ◎演 題 「災害時の住民の役割」

寄付

ご寄付いただき、ありがとうございます。
 いました。(平成18年10月19日から平成19年2月6日)

- ◎古川町商工会青年部様(古川町) 一〇、八二七円
- ◎吉澤 るみ子様(神岡町) 一〇〇、〇〇〇円
- ◎道下 則明様(宮川町) 二〇〇、〇〇〇円
- ◎瑞岸寺益世会 代表 長谷川 憲子様(神岡町) 九三、五〇〇円
- ◎匿名 名様 一〇〇、七八六円
- ◎川上 啓子様(神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎横川 奎二様(神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎駿河屋古川店様(古川町) 一八、七二三円
- ◎蒔田 善巳様(神岡町) 一〇〇、〇〇〇円
- ◎奥田 静平様(神岡町) 三〇、〇〇〇円
- ◎井上 善六様(古川町) 一〇〇、〇〇〇円
- ◎匿名 名様 一〇、〇〇〇円
- ◎堀 三治様(古川町) 二〇〇、〇〇〇円
- ◎両全寺女性部 代表 中村八乃枝様(神岡町) 一〇、〇〇〇円
- ◎革工芸同好会からくさ 代表 小瀬 啓子様(神岡町) 二〇、〇〇〇円
- ◎関 與次様(古川町) 一〇〇、〇〇〇円
- ◎山本 裕司様(神岡町) 六、一〇〇円
- ◎スペシャルブレンド 代表 上川渡 洋子様(神岡町) 六、一〇〇円
- ◎奥野 征視様(神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎スペシャルブレンド 代表 上川渡 洋子様(神岡町) 六、一〇〇円
- ◎山本 裕司様(神岡町) 六、一〇〇円
- ◎関 與次様(古川町) 一〇〇、〇〇〇円
- ◎革工芸同好会からくさ 代表 小瀬 啓子様(神岡町) 二〇、〇〇〇円
- ◎両全寺女性部 代表 中村八乃枝様(神岡町) 一〇、〇〇〇円
- ◎堀 三治様(古川町) 二〇〇、〇〇〇円
- ◎匿名 名様 一〇、〇〇〇円
- ◎井上 善六様(古川町) 一〇〇、〇〇〇円
- ◎奥田 静平様(神岡町) 三〇、〇〇〇円
- ◎蒔田 善巳様(神岡町) 一〇〇、〇〇〇円
- ◎駿河屋古川店様(古川町) 一八、七二三円
- ◎瑞岸寺益世会 代表 長谷川 憲子様(神岡町) 九三、五〇〇円
- ◎川上 啓子様(神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎横川 奎二様(神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎駿河屋古川店様(古川町) 一八、七二三円
- ◎蒔田 善巳様(神岡町) 一〇〇、〇〇〇円
- ◎奥田 静平様(神岡町) 三〇、〇〇〇円
- ◎井上 善六様(古川町) 一〇〇、〇〇〇円
- ◎匿名 名様 一〇、〇〇〇円



神岡中学校吹奏楽部 定期演奏会で『募金箱』設置



飛騨市立神岡中学校吹奏楽部より1月15日、神岡振興事務所において、3年生引退時の定期演奏会での募金を3年生の霜出京花さん、下野玲奈さん、蒔田蒔佳さんより「市内の困っている人に使って欲しい。」と飛騨市社会福祉協議会長へ手渡されました。たくさんの気持ちをありがとうございます。

- ◎小倉 進様(神岡町) 三〇、〇〇〇円
- ◎神岡中学校吹奏楽部 一五、〇六一円
- ◎櫻井 功様(神岡町) 二〇〇、〇〇〇円
- ◎佐々木 勝様(神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎倉田 晃様(神岡町) 五〇、〇〇〇円
- ◎ふくだつ会 代表 岩坂 吉明様(古川町) 四八、〇八四円

編集後記

特別会費にご協力いただき、誠にありがとうございました。
 (一口五千円。前回報告以降納入分で五十音順。敬称略)
 ◎久昌寺 二〇〇
 ◎三進造林(有) 三〇〇

昨年は、合併後三回目の『飛騨市健康と福祉のつどい』を開催し、福祉活動に民生児童委員として、また、民間施設等の役員として長年、活躍いただいた方の表彰を行いました。「ワークキャンプ」や「給食サービス」の事業に参加されている様子は、あまり積極的になく反応が薄いと思いましたが、意見発表を聞かせていただくとそれぞれ将来なりたい職業に希望を持って真剣に考え参加されていることが伺え、大変、嬉しく思いました。そのような気持ちで参加されている児童・生徒の夢が、体験してからも続き、是非、実現できるように社協職員としても、施設の職員やボランティアの方々も協力して事業を企画していきたいと考えています。